

穂学



令和4年度

広州日本人学校 学校便り

[No.19]

令和5年1月11日(水)

発行責任者 校長 加藤康徳

「子ども達の笑顔が帰ってきました。」

昨年の11月より児童生徒が登校できない状況が続いていたのですが、本日、2ヵ月ぶりに登校が再開され、やっと子ども達の笑顔が学校に戻ってきました。「長かった。」というのが誰もが思う正直な感想なのではないでしょうか。新年を迎え、予定の登校開始日より少しでも早く登校が再開して本当に良かったです。子ども達はもちろん保護者の皆様にはさまざまなご心配をおかけしました。この休校期間のご協力に感謝いたします。今年もよろしく願いいたします。

ただ、残された課題もあります。

1. 学習内容の定着
2. 子どもの規則正しい生活習慣の確立
3. 新型コロナウイルス感染症への新しい対策



<学校での授業を再開しました。>

「1」については、残された期間、学校でしっかりと指導をしていきます。臨時休業がありました。が、学習の進捗に関しては計画段階で余裕を持って授業の時間を配置しているので今のところは大丈夫です。

「2」については、せっかくに身につけていた学習の習慣を忘れてしまっている可能性もあります。保護者の皆様と協力をして授業日の生活のリズムを整え、少しでも早く休校前の状態に戻します。

「3」については、先日の「新型コロナウイルス感染症に対する保護者の皆様の認識調査アンケート」を参考に新しい対応の方向性を出します。(1月13日を予定) ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、保護者の意識調査の結果については以下の通りです。

<広州日本人学校の対面授業再開に向けた保護者の意識調査について>

現在、中国政府における新型コロナウイルス感染症への対策が「ゼロコロナ」から「ウィズコロナ」に変更となり、これからは政府主導による対応ではなく、各地方の行政機関、または現場レベルに任せられるようになってきました。

そこで、今後少しでも登校再開に向けた教育局との話し合いと子ども達が安心して対面授業を受けることができる環境づくりのための参考資料として、以下の項目において保護者の皆様へのアンケートを実施いたしました。

1. 現在、新型コロナウイルス感染症に感染した人の数が増加傾向にあります。このような状況の中での「対面授業」と「オンライン授業」の在り方について教えてください。

現在は「ウイズコロナ」の状況ではあるが、できるだけ対面での授業を望む。 64%

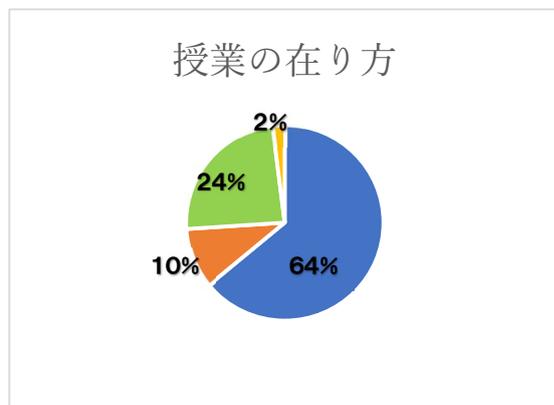
現在の中国国内の状況下では対面授業よりもオンライン授業を望む。 10%

状況により対面授業とオンライン授業の両方を望む。 24%

その他 2%

(自由記述)

- ・対面授業が希望ですが、無症状陽性で学校を休まなければならなくなった場合の生徒への授業サポートもあってほしいです。
- ・春節に感染拡大も懸念されているため、春節明けの感染状況を見て、対面授業の再開を検討して欲しい。それまではオンライン授業を望む。
- ・春節明けに感染拡大が報道されている為、春節明けの感染状況を見て、対面授業の再開を検討して欲しい。それまではオンライン授業の継続を望む。
- ・この日はオンライン、この日からは学校へ登校と言った、区切りではなく、子供の体調により、その日この子はオンライン、この子は登校など、普通の授業をやっている様子をオンラインでの子も参加できるような方法の検討を希望します。
- ・授業をしている先生と白板を映し、オンライン授業も選択できるように選択の幅を広げて欲しいです。



2. 新型コロナウイルス感染症に対する認識とその対応についてどれが最も近いですか。

(1) 新型コロナウイルスの危険度について

かなり危険なウイルスだと認識している。 19%

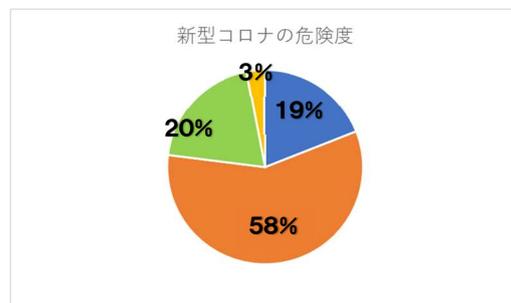
ある程度は危険であると認識しているが、あまり心配はしていない。 58%

風邪やインフルエンザなどのレベルだと認識している。 20%

その他 3%

(自由記述)

- ・感染症そのものについては、インフルエンザなどのレベルに近いと認識しているが、行政や医療体制や医薬品の流通等が日本とは違うので、その点は危機感を持っている。
- ・通常の経過をたどれば安心ですが、万一の時の国内医療に不安は感じていますので、出来るだけ感染したくないと思っています。



(2) 経費について

※無料 PCR 検査場が閉鎖されてきている状況の中、登校が再開されると抗原検査キットによる自宅での検査や、場合によっては有料の PCR 検査をお願いすることが想定されます。

家庭でも感染防止の経費と手間がかかるのは仕方が無いと認識している。68%

家庭で感染防止対策の経費と手間はあまりかけたくない。25%

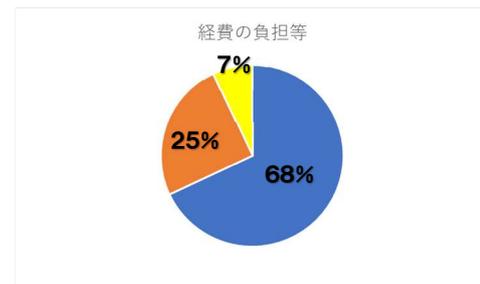
その他 7%

(自由記述)

- ・抗原検査だけ協力できる。
- ・安心して対面授業再開するための必要条件であれば、実施に協力する。
考えではあるが、自宅でできる範囲にしてほしい。
- ・無症状の時にも抗原検査を強制されるのは負担が大きい、心配な症状がある、身近で感染者が出た等で検査することについては仕方がないと思う。
- ・経費・手間は惜しまないが、PCR検査の場所が限られるので、きちんと受けられるか心配。
自己負担でも良いが、検査頻度次第。
- ・家庭でも感染防止のための経費と手間がかかるのは仕方が無いと認識している。が、検査キットや検査場所の確保が難しいので、対策を立てて頂きたい。
- ・高額な経費はかけたくないです。
- ・定期的な検査や行事参加の為の検査の場合は、経費は払うので、こどもだけでも学校でまとめて検査していただくとありがたい。
- ・経費と手間はあまりかけたくないですが、必要な時は仕方ないと思います。今の現状で、全員にやらせる必要は感じません。感染した人が登校を再開する時に陰性証明としては必要とは思いますが。

(インフルエンザの対応)

- ・抗原検査キットの購入が容易であれば経費がかかるのはしょうがないと思いますが、年末のように購入が難しい状況になるのは不安があります。
- ・経費や手間は多少仕方ないと思っています。しかしPCR検査限定となると有料でも簡単に受けられないのが困ります。
- ・経費は問題ないが、購入出来ない状況が続いている。
- ・抗原検査キットは入手困難と聞くし、必要と言うなら学校で配って欲しい。
- ・経費や手間がかかることは理解していますが、抗原検査キットが手に入りにくい状況ではあります。
- ・検査キットも手に入りにくいので、早めの事前連絡があると助かります。



上記のアンケート結果を参考にさせて頂き、本校としての新しい新型コロナウイルス感染症に関連する対応を検討させて頂きます。アンケートへのご協力に感謝いたします。